

第11 動力消防ポンプ

I 外観検査

1 水 源

屋内消火栓設備に準じたものであること。

2 ポンプ等

- (1) 設置場所は設置したポンプに応じ適正なものであり、かつ、使用に際し支障のないものであること。
- (2) 所要の放水用器具等が必要数装備されていること。

II 性能検査

1 方 法 必要本数のホースを延長して筒先を確実に保持し放水する。

2 合否の判定

- (1) 真空計又は連成計により測定した真空指度が適正であり、真空ポンプを停止した場合、著しい真空指度の低下がないこと。
- (2) エンジン及びポンプの始動が容易であり、作動中にも異常がないこと。
- (3) 吸水が確実に行え、かつ、揚水により真空ポンプが確実に停止すること。
- (4) 各部からの著しい漏水がないこと。
- (5) 所要の放水圧力及び放水量が得られること。なお、放水圧力は動力消防ポンプ設備の圧力計において、規格放水圧力以上であることを確認すること。